

系統連携に関する現状（制度・技術）などにつき改善すべきと考えている点

1. 制度面

- 9 電力による地域独占の弊害、発送電一体の弊害（くし型配線の弊害排除）
- 家庭向け 100V の弊害・50Hz、60Hz 問題
- 電力負担金の透明性について

2. 技術面

- 系統連携の能力的な問題があり、一定以上の風力発電を受け入れられないとの電力会社の説明の技術的背景が全く不明（例：北海道電力では当社設備容量の約3%が限度との説明）
- くし型配線の弊害
- 最大電力値データの計測法（現状 200mScec を例えば数秒に出来ないか）。風力発電機の高負荷運転時の系統遮断による停止頻度が少なくなり、発電量の増加、発電機への負担軽減が期待できる。

他に多々あるも、重複すると思うので、省略。

以上